

2021年(令和3年)1月11日(月曜日)

CEによる産業活性化に期待

レアメタル資源再生技術研究会

ポストコロナ時代に向け

希少金属資源の産官の関係者などで行ったレアメタル資源再生技術研究会(岐阜県各務原市、藤田豊久会長)は昨年11月30日、第19



第19回レアメタル資源再生技術研究会
2020年11月30日(月)
岐阜県各務原市 岐阜県立大学 各務原キャンパス
16時参加・17時開会(17時開会) 岐阜県立大学 各務原キャンパス
(各務原市)
「ポストコロナの産業活性化に向けた循環経済ビジョンと資源リサイクルの展望」
「サーキュラーエコノミー(CE)と資源リサイクルビジネス」
5講演 および パネルディスカッション

オンラインであいさつする藤田会長

回となる講演会を開催した。新型コロナウイルス感染症対策として、オンライン配信と会場講演を併設して実施したもので、述べ177人が参加。「ポストコロナの産業活性化に向けた循環経済ビジョンと資源リサイクルの展望」サーキュラーエコノミー(CE)と資源リサイクルビジネス」をテーマに、5人の講師による講演とパネルディスカッションで、CEに関する最新動向や論点を学んだ。

講演会の冒頭、中国からオンライン参加した藤田会長は「感染症の拡大が収まらないなか、テレワークの増加やデジタルトランスフォーメーション(DX)への高い関心などを背景に、CEについても議論が活発になりつつある。今回、この分野の第一線で活躍する講師陣を招いたので、是非知識を深めてほしい」とあいさつした。続いて行われた講演の演題と講師は以下の通り。①「我が国が目指す循環経済の在り方―循環経済ビジョンの策定―」経済産業省・横手広樹氏、②「循環経済ビジョンの策定について」循環経済ビジョン研究会・細田衛士氏、③「欧州のサーキュラーエコノミー政策に関する基本的な考え方」(公財)日本生産性本部・喜多川和典氏、④「CEの促進とモノ・情報の流れの重要性について」東京大学・村上進亮氏、⑤「CEで実現するビジネス・

イノベーション」ハルタ金属・張田真氏。①②では、経産省が昨年5月に取りまとめた「循環経済ビジョン2020」の概要から考え方について発表。③では先行するEUの新たなCE行動計画の概要やポイントを解説した。④ではCEの国際規格化に向けた議論が進む中で、定量的な評価が可能な指標についての考察を示した。⑤では、CEビジネスを日本国内で具体化したビジネスとして、東海道新幹線車両のアルミ部材リサイクル事例などについて発表された。

講演のあとには、福岡県リサイクル総合研 究事業化センターの中村崇氏を司会としてディスカッションも実施し、会場やオンライン参加者の声も踏まえながら議論を深めた。